

平成26年度第1回宇佐市地域ICT利活用推進協議会 会議要旨

日 時：平成26年7月22日（火） 10:00～11:40

場 所：宇佐市役所 本庁4階 大会議室

出席者：以下のとおり

宇佐市地域ICT利活用推進協議会委員の出欠

No	区 分	所 属	フリガナ	出席	欠席
			氏 名		
1	会 長	宇佐市副市長	ノブクニ カズノリ 信 国 和 徳	○	
2	副会長	宇佐市自治委員会代表	ゴトウ フミトシ 後 藤 文 利	○	
3	〃	宇佐市総務部長	イナヅミ ヨシヒサ 稲 積 義 久	○	
4	委 員	宇佐市民生児童委員協議会代表	モリ セイコ 森 征 子	○	
5	〃	宇佐市老人クラブ連合会代表	ヤナキ タ マサアキ 柳 田 正 昭	○	
6	〃	宇佐市地域婦人団体連合会代表	オオキ ミツミ 大 木 光 美	○	
7	〃	まちづくり協議会代表	アベ フミオ 安 部 文 雄	○	
8	〃	宇佐商工会議所代表	イワカネ テツオ 岩 金 哲 男	○	
9	〃	宇佐両院商工会代表	キョサン ジュンイチ 巨 山 淳 一		●
10	〃	市議会代表	カリーノ ムツオ 河 野 睦 夫		●
11	〃	社会福祉協議会代表	オカベ ノリヒコ 岡 部 徳 彦	○	
12	〃	宇佐地域保健委員会代表	コレナガ ミチオ 是 永 迪 夫	○	
13	〃	大分県情報政策課	クラハラ ヒロシ 倉 原 浩 志		●
14	〃	市民代表	ヤマスエ クニヒロ 山 末 久 仁 弘	○	
15	〃	市民代表	イマナガ ユウコ 今 永 裕 子	○	
16	〃	市民代表	マツオ シュンサク 松 尾 俊 作	○	
17	〃	市民代表	タカハン ヒロカズ 高 橋 宏 壽	○	

事務局等出席状況

No	役 職	所 属	フリガナ	
			氏 名	
1	その他	インターネットひろめ隊	ワタナベ	ヤスノリ
2	その他	インターネットひろめ隊	カク	マキ
1	事務局	情報統計課長	マシウ	ユウイチ
2	事務局	情報統計課 情報化推進係長	ヤマダ	カズキ
3	事務局	情報統計課 情報化推進係	トキエダ	ケンジ
4	事務局	情報統計課 情報化推進係	タムラ	タカヒロ

※今回の会議は、ペーパーレス社会を疑似体験してもらうためタブレットを使って説明を行う。(宇佐市初の試み)

1. 開会

情報統計課長より開会のあいさつ

2. 会長挨拶

信国副市長（委員長）あいさつ



3. 議事

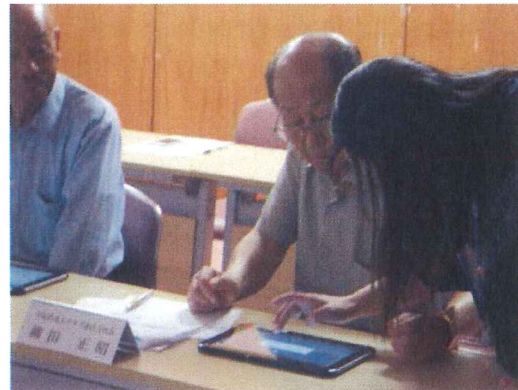
(1) 情報化の推進について

- ① ICT利活用
- ② 導入事例研修
- ③ これまでのシステム構築状況

以上のことについて

- ・事務局より配付資料により説明
- ・タブレットを使用して説明、ペーパーレス社会を疑似体験
- ・パワーポイントも同時に使用

情報統計課情報化推進係長 山田



(2) 意見・質疑

(会長)

事務局から説明がありましたが、意見があればお願いします。

(今永委員)

パソコンはあまり詳しくはありませんが、今説明していただいた中で、最初こちらの画面を見ているのですが、3番の説明がありましたが、この中の3番を探すわけですね、次は紙の何番と言ってくだされば、分かりやすかったと思いました。

武雄市の図書館の件ですが、何個か出てきたのですが、もしあれが真実であれば、あまり情報がないなあという気がしました。

武雄市が進める幼児の絵本が出てくるのだったら読んでみたいと思うが、一般的に出回っている本があって、後を見たら幼児向けはそんなになかったんで、普通に何かするときにはシンプルな本も良いんですが、最近で行くとだいたい今一番売れている幼児雑誌に順位が付いていて、ランキング1位とかの説明があれば良いなあと思いました。もし、宇佐市がするようであれば。

(事務局・山田)

今度、武雄市の図書館に研修に行きますので、このアプリケーションが優れているかということからまず、見ていただきたい。これを入れたからと言って利便性が上がるとは限らないんですね。今日操作していただいて分かったとおり操作しにくいところもあることが分かったと思います。こういうところを見ていただいて、逆にですね宇佐市が取り組むときにこのようにして取り組んで行けたらというところで考えていますので、宇佐市がこのまま作るということは現段階ではございません。

(今永委員)

例えば、次はこの下を押してくださいという表示がある。1、2、3と出てきたのですが、分かりにくかった。

(事務局・山田)

次回に向けて改善して、その辺のところはやりたいと思います。

(是永委員)

改善も良いが、リモートで事務局がめくってくれれば良い。

(松尾委員)

文書で提案をしているが、市のホームページをもっと良くしてほしい。宇佐市と豊後高田市のホームページを比較しました。豊後高田のほうが馴染みやすいというか、何かを見つけるのに見つけやすい。宇佐市の場合は、提案した文書の中にも書いてありますが、文字が非常に多い。それと例えば今日こういう会議があるときに、時間が分からなくなって調べようと思ったら、この会議の案内がどこにも出ていないので、探すことができない。

それから、インターネット放送局の話になりますが、バナーがあるのですが、分かりにくい。総務部長から「インターネット放送局が始まりましたよ。」と言われ、私、見ましたよと言いましたが、どうも話が違うみたいで……。私はそのバナーの下にあるテレビ放送案内を見ていました。トップページあたりくらいに市民の皆さんへのお知らせとかですね、というような形で書いていただければすごく分かりやすいと思う。3ヶ月か6ヶ月後くらいにはこの辺のあたりに、また残すのもそれは良いとは思うのですが。

例えば、子育て関係もそうですし、防災情報関係でもそうなのですが、開けてみるとすぐに「ばあっ」と文字があって一番最初に何々をやりましたという結果が出ている。我々市民が知りたいのは、例えば大雨があつたら今状況はどうなっているのかということを知りたいわけです。市民の目線でのホームページ作成をもっともっとやっていけば良いと思う。先ほど防災で2カ所カメラをつけると言いましたが、佐賀ではないですが、観光も兼ねた、例えば小松橋辺りの洪水状態、それとか石橋の状況とか宇佐神宮の状況だとか院内のマチュピチュだとか色んな所にこのカメラを設置してですね、市民以外の方でもワンクリックで見ることができるというような、興味を持たせるようなホームページづくりをしていただいたらありがたいなと思います。以上です。

(総務部長)

松尾委員から言われたように別のところで話す機会がありまして、ご意見もいただいております。豊後高田市との比較とかそういった部分も聞いておりますし、それはまた秘書広報課と具体的な話をできることからしていきたいと思っています。

(会長)

他にございませんか。

(山末委員)

松尾さん、私、前に言ったと思いますが、個人でやっていただいても構わないですが、せっかくこういう機会があるので、資料を出していただだけませんか。賛成も何もできないのですよお。

(松尾委員)

それは違うですよ。念のため情報統計課に今言った文書は全部流しています。ですから、今日の資料の中に入れていただければ、お分かりになったのではと思います。

(山末委員)

事務局、考えていただだけませんか。せっかくいい案が出て委員の方が全然考えられないですよ。話だけ聞いてて分からない。ほかの委員さんは全く何のことかわからないと思う。資料がないから意見が言えないわけですよ。だから、皆さんがせっかく集まっているので、できれば資料として出していただきたい。

(事務局・麻生)

申し訳ありません。前もってメールで松尾さんからの提言は受け取っております。先ほどから宇佐市と豊後高田市のホームページの比較で文字数が多いとか分かりにくいという話も先週に、松尾さんがわざわざ来ていただいてお話を承っております。それで、確認の意味のメールという風にこちらが受け取りまして、今日この場で皆様方と資料を出してお話しできれば良かったのですが、担当各課にお伝えして事足りると勝手な判断で資料を用意できませんでした。大変申し訳ありません。今後は、委員さんから事前に資料をいただければ皆さんに会議の時に開示していきたいと思っております。以上です。

(松尾委員)

前回確か、いろんな形でお話をして、ここの案で出てきたものが非常に縦割りのようになっておりまして、横割りの形でこのICTの意見が反映できる形にしたかどうかとかいうような意見も出てきていたと思うが、その辺のところの対応は検討中なのか回答をまだいただいていないような気がします。

(会長)

事務局その辺は分かりますか。

(事務局)

・・・・・・・・

(会長)

大変申し訳ないのですが、4月に2人とも換わりましたので、引継ぎの整理ができていない点もありますので、もうしばらくお待ちください。

(松尾委員)

先ほど、山末さんがおっしゃったように、例えば我々このように発言しますが、多分議事録を録られていると思いますので、私らだけでなく市民もICT委員会でどんな発言が出たのだろうとか、どういう回答が市から出たのだろうかと、そういうものを市のホームページに議事録を張り付けるなり資料も一緒に添付するような形のものがあれば担当が換わっても引き継がれるのではないのかなと思います。

(事務局・係長)

今回の会議から議事録をホームページに揚げて、会議としてオープンな形をとって行くよう努めてまいります。

(会長)

では、そのようにお願いします。他にはございませんか。

(山末委員)

別件でも良いですか。先ほどの資料をタブレットで使ってみましたか。ダウンロードするようになっていたが、ファイルの名前が1-1とか2-1などになっているとそのファイルが何のファイルか分からない。要は開いてみないと分からない。だったらローマ字表記でも何でも良いのですが、それであれば開いたときにどれを選べば良いか、だからPDFでも便宜上1-1とか入れる楽かもしれないが、ファイルの名前を分かりやすい名前にしたほうが探す時に分かりやすいと思う。それで、せっかくICTを使っているのでもっと見やすくしてほしい。電子書籍もだ

いぶ進化してきて見易さが変わってきた。できればもう少し見やすくする工夫を今後、これを使ってするのであれば、そういう風にしていたほうがいい。先ほど、是永先生が言われてましたが、リモートでやるとすれば、システムを導入しないといけなくなるので。それをどこが使っているかという学校現場が使っているので、宇佐市で取り組んでいるものが既にあるはずなので、そういったものの導入を検討する。そうなればいいと思いますが。

(事務局・山田)

ご指摘いただいたとおりでございます、先ほどインターネットテレビを見て分かっていたと思いますが、言葉だけではなく映像から来るものもかなり有効的な情報であるということ、事務局の方も認識しておりますので、ファイル名等に関しましてもご指摘いただいたように取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。

(山末委員)

ついでにいいですか。今見やすいという話も出たので、先ほどの動画もそうなんですが、本当は喋っている言葉も文字が出てきてくれると本当は良いんですよ。前にも言いましたが、市議会を動画で配信していますが、あれに解説は無くてもいいが、話している内容が文字として見えないと聞きづらいのです。端末によって聞こえなかったりするので。本来は文字を出してくれるほうが、何を言っているのか分からない時も文字を見れば分かりますから。そういう工夫をしてくれたほうが見る人は分かりやすい。

(会長)

貴重な意見をいただきましてありがとうございます。他になければ次に行きたいと思いますが……。岩金委員。

(岩金委員)

防災ということで、大分合同新聞に記事が出ていました。いわゆる防災無線ですが、これがいろんなタブレットからいろんなものに……。できるという形で発表されました。たまたまこの開発者の方が、私と個人的にといいますかうちのシステムをこの方が作っていますが、少し検討していただいて、今すぐ云々ということではなくて非常に便利な風に書いてあります。これと競争しているシステムが中津の消防署のほうに100台くらい入りました。あれは防水ではありません。これは水深1メートルに30分浸けていても大丈夫です。7月11日の大分合同新聞に出ていました。一応情報としてお話ししました。

(会長)

時間が1時間経ちましたが、他にご意見はありませんか。なければ「情報化の推進」については、計画通りに進めさせていただきますことをご承認いただいて、次に移ります。次は、その他といたしまして是永先生の方から「超高齢社会をサポートする地域情報共有サービス基盤構築に向けた調査」について報告をお願いします。

4. その他

「超高齢社会をサポートする地域情報共有サービス基盤構築に向けた調査」について

プロジェクトリーダー 是永 迪夫 氏

別紙資料 調査結果について説明



【上記について意見及び質疑】

(会長)

是永先生、大変ありがとうございました。せっかくの機会です。是永先生に聞きたいことがあればどうぞ。

(松尾委員)

是永先生にご提案をしたいのですが。すべての根源は少子高齢化だと思うが、受けるサービスにはお金がかかるということをもっと前面に出す必要があると思います。全てお金のかからないサービスはあり得ない。それを行政に負担してもらうということは税金が上がってくるになる。だから、そういう意味合いでのサービスにはコストがかかるということをもっとこの報告書の中に謳いこんで欲しい。住民負担をもっと前面に出してもよろしいのではないかという気がします。それと例えば買い物配送は果たして必要なかどうかということは少し疑問に思っている。例えばセブンイレブン辺りは買い物配送を今しているわけです。行政がそういうところまですべてやる必要があるのかどうかということも疑問に思っている。そういう2点について、もっともっと詰めていただいたらありがたいと思う。あと財政ですが、もっと高齢者の医療負担を2割とかという形でもっと増やしていくなど考えていかないと。弱者切り捨てになっているというような形で言われているが、私は弱者切り捨てにはなっていないと思う。その辺のところは少し違和感がある。

(是永委員)

買い物に関してはお金を取って、実際にやられて私営でやられている方もいらっしゃいますので、それを中心に事業を展開することはできませんが、そういう実際回っている所のノウハウを受けてですねやれば、それがひとつの突破口になります。それともうひとつ医療介護に関しても色んなサービスを作れば、まあ全国的にも色んな事例が出ていますので、お金がかかるというよりは、お金はかかるけれど本当はサービスを無料で提供したいところですよ。

(松尾委員)

いや〜、それは少し如何なものかなと思います。

(是永委員)

僕はできるだけ安く住民の皆さん方がサービスを受けることは一番いいのではと思う。

(松尾委員)

タダほど高いものはないと言いますからね。結果的には重点的にやるのか、それとも薄くというそれは不十分になりますから。

(是永委員)

どちらかという、やるとすれば必要な方のみ配るということを考えています。だから、皆さん平等にやるということはいまいちいいない。だから、必要な方あるいは意欲のある方にまずやっていただいて、それからそれを見て本当にいいと思えば皆さんに広げていくというような形にしないと無理と思う。全員にばら撒いてやるということはとても無理なので、その際にお金がかかるのですよということを知らしめる。金がかかるけどこれを受けますかということです。ただ実証実験の間にそれができないですね。実証実験が終わった後、おっしゃるような考えのもとにこれを使うにはこれだけのお金がかかりますよということは当然算段しないといけないと思う。

(松尾委員)

分かりました。

(是永委員)

僕は弱者救済にはなっていないというか今からですよ。問題は今40兆円の金をつぎこんで借金をして・・・今が良いって言われても・・・。

(松尾委員)

今が良いということではない。高齢者医療だとかにつぎ込むお金があるのならば、もっともつと若い人たちの、少子高齢化が解消するような。例えば女性が働きながら子育てが出来るというようなところにむしろ重点配分すべきではないのか。

(是永委員)

それはもちろん一つの政策としては出てくるが、介護に10兆円で子育てにも9兆円くらい出していないですか。若者対策にも9兆円ちょっと出しているのですよ。実際予算として。僕がここで言いたかったのは重点政策としてあがった時に行かないでそれを見逃したらある意味では損をしますよ。チャンスを逃しますよ。今、厚労省が年間900億円くらいこの辺りにお金をつぎこんでいる。来年も800億円出ます。それを上手に使いながらやっていくことを陰ながら提案したつもりです。若い方にお金を回すというか、借金を残さないようにしなければならないということは頭の中にあります。

(会長)

是永先生、ありがとうございました。なければ・・・高橋さん。

(高橋委員)

もう何年になりますかねえ。私がずーと感じているのは、最近は会議をやっても個別の案件はそれぞれ皆さんで少し改善して行こうと・・・。私はいつも思っているのですが、いつスタートするのかなど思っている。やはり目標に向かってそれに集中するという計画の立て方をしてそれを実行していくという、もうほぼ土台的なものはできていると感じる。ネットの環境の話もしてきたし、ある程度いうなれば石橋を結構叩いている段階かなと、ぼちぼち渡ってもらったらいいなあと思っている。ただ、いろんなシステムが資料で出ていますが、一番大切なものはお年寄り

にとって喜ばれるものは買い物でしょうし、当然民間がどんどん入っていますし。そして2番目は生きるための健康でしょうし。3番目はコミュニケーションですね。前もお話しましたように一番恐ろしい病気は孤独だと言うように誰ともしゃべらないというのが一番怖い。それでコミュニケーションを取れるような環境を作っていく。食べることと健康とコミュニケーション、取りあえずそういう部分から優先順位をつけてスタート出来るのではないかという気がします。それともう一つは先ほど話が出ましたが、四日市の商店街で「よろーや」というアンテナショップの補助金が終わって、今オオクマさんって方が個人的に、おそらく利益は出ていないと思うが、自分の本業からお金をつぎこんで自費でやって、商店街から商品を集めて、それで今度宅配も始めました。お使い便を始めたのです。すべてやっているから到底あのくらいの配達料じゃ人件費ばかりで……。でも、それをあの人は夢を持って商店街の灯を消さないように一生懸命頑張っている。やはりそういった志のある人がいるわけですから、その人を試験的に、同じ志のある方に協力してもらってやってみる。成功すればまた他の地域のよろーや的なものの思いのある方にやっていただくとか。そういう形でエリアを広げていく。試験をする土台は実際にあると思うので、環境はもう出来ていますから。私は七くらいでも早くスタートしたほうがいいと思う。とにかく優先順位をつけて、買い物なら買い物、それに全部繋がっていく。皆さん方の頭の中には多分そこそこできていると思うので、あとはとにかくスタートして繋げていけば良いと思う。だから、計画書ではないですけどスケジュールを立てていただいたらと思う。

(事務局・麻生)

是永先生から発表がありましたように介護医療それから買い物支援、それをどう繋げていくか、今高橋委員さんからもありましたけれど、もうスタートしても良いのではないかということはこの前もお聞きしまして、今後は皆様方からいただいたご意見を参考にしながら事務局としても早くスタートできるようにやりたいと思っております。以上です。

(会長)

今回研修を計画していますが、それを踏まえたうえで事務局のほうで計画を立てていただきたいと思います。非常に詳しい委員さん方も期待をもたれていますので……。時間も迫りましたので、……。それでは森先生。

(森委員)

子育てとか……。働きやすい環境づくり、例えば保育園が子供何時から何時まで預かりますというような情報、お母さん方はそういうのを知りたいがっている。空き家には今こんな空き家がありますよとかそういう情報が流されていたら宇佐市は発展すると思うが。

(事務局・麻生)

子育て専用サイトを今日ご紹介しましたが、担当課のほうでそういうポータルサイトを作成中でございます。来年度初めには運用できるようになると思いますので、そういった情報はその中に必ず盛り込まれると思っておりますので、確認しながら進めていきたいと思っております。

(是永委員)

買い物は要らないという話もあるが、トキハの常務と先日話したが一緒に共同でやってもう少し効率性を上げたいということは彼らにもあるようです。彼らのノウハウを利用してまずはひとつスタートが切れるのではないかと思う。それから地域の住民の方も1件ずつするよりはお金が

安いのならできたら集会所とかデイサービスセンターに物を持ってきてくれたらいいねというような形で、まだもう少し工夫ができるところもありますので、そのあたりは目標にするということで。

(会長)

ありがとうございました。時間が来ましたので、本日の会議を終わりたいと思いますが、委員の皆さん方ありがとうございました。それでは事務局の方に進行を・・・。

5. 閉会

(事務局・麻生)

大変お疲れ様でした。ICTを活用したサービスについて、少しずつではありますが進展している事業もあります。これからも委員の皆様のお力添え・ご意見を参考にしながら何とか前へ進めていけるように関係各位と協議しながら進めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。これをもちまして終了いたします。次回は、先進地研修を予定しておりますので、後日皆様にご連絡いたしますので、ご参加の程よろしくお願いいたします。